

# 公益社団法人中部日本書道会 一宮支部報

公益社団法人  
中部日本書道会  
一宮支部発行  
編集  
支部編集部

## 新支部長に岩田澗流先生御就任

支部次長 倉橋高堂

▼日時 平成二十五年一月二十七日(日)  
▼会場 一宮スポーツ文化センター  
真清田神社参集殿



平成二十五年一月二十七日(日)午後二時半より一宮スポーツ文化センターにおいて公益社団法人中部日本書道会一宮支部の集会在開催されました。議長に相談役の林大樹先生を選任し、議事が順次提案、審議されました。今年度は、役員改選の年

で、選考委員長の亀山雪峰先生はじめとする五名の先生の協議により、新支部長に、岩田澗流先生をお願いすることとなりました。則ち、武穹先生には、一期二年間本当にお疲れ様でした。これからも、相談役という御立場で、ご活躍されることを心からお願ひ致します。最後に本部より公益社団法人中部日本書道会企画部長の横井宏軒先生より、ご来賓の挨拶をいただきました。無事集会は終了いたしました。六時からは、真清田神社参集殿に移動して交流会です。本部より公益社団法人

## 支部長就任にあたって

支部長 岩田澗流

指導、アドバイスを仰ぎながら一歩一歩進み、何とか職務を全うできるように精一杯勉強させていただきます。幸運にも、一宮書道連盟会長には川浦碧濤先生に御就任いただき、加えて支部次長に倉橋高堂先生、村田光枝先生、鷺野紫篁先生、連盟副会長に村上史麗先生、書道協会常任理事長には田代春苑先生。そして各部長にも献身的に御活躍いた

去る一月二十七日開催されました平成二十四年度一宮支部集会在於いて、重責を担う支部長を拜命致しました。何分、若輩者でありますので、相談役の先生方や、経験豊かな諸先輩の御

中部日本書道会副理事長関根玉振先生、企画部長の横井宏軒先生には引き続きご参加をいただきました。来賓の先生方にご挨拶をいただいた後、新支部長の岩田澗流先生より、連盟会長に川浦碧濤先生をとのご指名がありました。若いお二人の初々しい挨拶の中に、支部にかける力強さが感じられ、会場からは、満場の拍手が湧き起りました。最後に相談役の佐野桃子先生の万歳三唱で、幕を閉じました。



断無く続き、一行事を遂行するに当たり担当スタッフ始め、多くの方々の並々ならぬ御協力が存在します。また、支部展、学生書道展では「次代を担う青少年の健全な育成」に貢献できるよう、アイデアを出し合いながら進めて参ります。大変不安の中での出発ですが、執行部、各委員の先生方の力強い御協力を戴き、一宮支部という「大家族」の皆様と共に「和」をもって歩いていきたいと願っております。おひとりおひとりの貴重なお力添えを心よりお願い申し上げます。

### 平成25・26年度 公益社団法人 中部日本書道会一宮支部・部別編成・役割表 (任期2年) 順不同

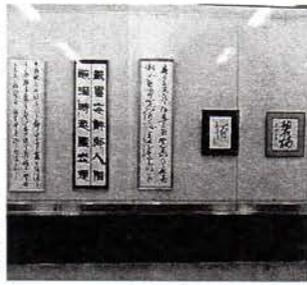
支部長	岩田澗流	一宮書道連盟会長	川浦碧濤	監事	伊藤玄圃 中村曾南	常任顧問(相談役)	牛田五龍 佐野桃子 亀山雪峰 鷺野看雲 武山翠屋 木戸竹葉 林大樹 則竹 穹
支部次長	倉橋高堂 (集會担当)	一宮書道連盟副会長	村上史麗 (講演会・選抜展担当)				
支部次長	村田光枝 (支部展担当)						
支部次長	鷺野紫篁 (学生展担当)						
一宮書道協会常任理事長	田代春苑 (研修会担当)						

部別	部長	副部長	委員	分掌	
事業部	吉田桃花 (協会事務局長)	伊藤美泉 藤本成良	河村抱山 村井光恵 桜井嘉志	安藤海花 我麗汀 無藤竹 内真山 堀野口 阿部田 舟佳美 花楊茜	支部展・集會・講演会・研修会・イベントの企画運営 部長会の資料の作成・議事進行、事業計画・事業報告書の作成 部長会・学生展・作品整理等の会場手配(連盟は経理)
教育部	吉田美影	加地孤 牧森仙雪	可児長望 宮代翠霄 中村華風	山田紅照	学生展(支部・七夕)の企画運営 備品の管理
庶務部	美濃羽城開	高松秀翠	高桑愛降 渡辺湖風		文書の発送 その他、他部に属さない業務に関する事
経理部	(支部)見神恵峰 (連盟)大塚菫苑	牛田美泉 溝口純華	太田紫翠 神虹泉	酒井香雪 長澤美峰	予算・及び決算、収支に関する事 金銭を伴う受付業務、日常の金銭の管理
会員部	横井静嘉	酒井淑婉	萩原鳳苑		会員の管理、会員名簿の作成 各種資料の管理
編集・広報部	小島瑞月	河島紫虹	小倉梨雪		支部(本部)報の編集・発行、各事業にかかわる広報に関する事 各種資料の作成応援、名札の管理、芸文協の編集集會と冊子の配布
記録部	後藤蘇月	村上桂峻	高山紅雪		部長会の議事録の作成 各種事業の記録(出欠を含む)、及び写真
厚生部	後藤庭華	酒井光華	五藤梅艶 西村松花		交流会の司会・進行等運営全般、会員の福利厚生に関する事 各種行事の飲食に関する事、弔事における弔電・供花の手配・本部への連絡

# 第六十七回一宮市芸術祭参加 第58回一宮支部展

支部次長 村田 光 終

▼会期 平成二十四年十一月二十四日(土)～二十五日(日)  
▼会場 一宮スポーツ文化センター



秋深まる良き日、本年度も支部展が開催されました。昨年同様、本部より賛助出

## 第41回学生書道展

公益社団法人 中部日本書道会一宮支部  
教育部長 三輪田 香 苑

▼会期 平成二十四年十一月二十四日(土)～二十五日(日)  
▼会場 一宮スポーツ文化センター

本年度も一宮市芸術祭に協賛し、支部展と併催、盛況裡に終了することが出来ました。

支部長則武穹先生をはじめ役員諸先生、出品の諸先生、御協賛賜りました関係各位の皆さまに紙面をお借りして深く感謝申し上げます。

さて、恒例となりました「イベント」は、生徒が自分の先生の作品の、

本年度も、多数のご出品により、盛況裡に終わることが出来、これも偏に、支部員各先生方の御尽力御協力のおかげと心より感謝と御礼を申し上げます。

一宮支部展は、バリエーションに富んだ作風が多く、各展示室が上手く調和され、地元の書芸術の素晴らしさを再確認出来る絶好の機会かと思えます。

又、フューチャーズ作品は、各お社中の先生の御指導御努力の元、制作意欲が強く感じられる作品ばかりで、団体におかれましても、題材の工夫に因んだ色彩の効果により、お社中の感性

が醸し出された芸術性豊かな展示となりました。若き溢れる皆様が熱心に取り組まれた様子が脳裏に浮かぶようです。

芸術的感性のある人ない人の差は、どこから違ってくるのか。以前、記事で読んだことがあります。それは、「関心の差」だそうです。

一宮市の芸術祭参加行事として、一人でも多くの方々に関心を抱いて頂けるよう、一役員として努めて参りたいと思えます。

「夢」「花」「へび」等々、その中で「宇宙」と書いた生徒さんに、思わず声をかけました。返事は、宇宙に行つてみたいとのこと、きつと、この一宮から世界の大空へ宇宙飛行士が誕生することでしょう。

色彩豊かに、家族、親子が一つになつて「絆」が垣間見え微笑ましい光景が、沢山見受けられることが出来ました。書が少し変化？楽しい書となりつつあります。来年度がとてもしみです。

「賞状賞品引換所」におきまして、賞状賞品をお渡しの折、各部の先生全員で、拍手を…。生



- 総出品数 三、八〇九点
- 個人賞 一、五九二点
  - 特選 一、五〇六点
  - 金賞 七二一点
  - 展示数 一、一七一点

# 2012 一宮総合美術展

▼会期 平成二十四年六月七日(木)～十日(日)  
▼会場 一宮スポーツ文化センター

種目 日本画・洋画・彫刻・立体・デザイン  
工芸・書・写真  
主催 一宮市教育委員会 一宮市芸術文化協会

当美術展は、一宮市芸術文化協会に所属する文化団体から選抜された方々の展覧会であり、書の部門には各会派から左記の方々が出品されました。

- 出品者(五十音順)
- 阿部舟花 安藤蘇道
  - 伊藤玄圃 伊藤白蒲
  - 岩田潤流 牛田五龍
  - 大塚菖苑 大西影慕
  - 小原紫明 加藤松翠
  - 神谷静苑 龜山雪峰
  - 川浦碧濤 木戸竹葉
  - 倉橋高堂 小島雪舟
  - 近藤芳玉 佐野桃子
  - 澤野麦邨 高木曾水
  - 武山翠屋 田代春苑
  - 田中石雲 富田榮楽
  - 中村紅邑 中村曾南

## 第70回一宮市美術展

▼会期 平成二十四年十一月十五日(木)～十八日(日)  
▼会場 一宮スポーツ文化センター

- 審査員
- 鬼頭翔雲 高木大字
  - 龜山雪峰 木戸竹葉
  - 林 大樹 則武 穹
  - 森 隆城 伊藤玄圃

- 依頼出品
- 牛田五龍 佐野桃子
  - 龜山雪峰 武山翠屋
  - 木戸竹葉 林 大樹
  - 近藤芳玉 山田杏華
  - 則武 穹 岩田潤流
  - 森 隆城 伊藤玄圃
  - 村田光終 小原紫明
  - 田代春苑 林 如華
  - 夫馬紫泉

- 支部関係入賞者
- 野村恰光 酒井淑婉
  - 岩田波鮮
  - 市長賞 西村松花 五藤梅艶
  - 野田智子
  - 教育委員会賞 岩村蹊月 尾中杉得
  - 平光朱扇 鶴飼梨英
  - 牧 惠清
  - 第70回記念特別賞 林 華泉 渡邊水香
  - 谷本義仙
  - 美術展賞 春日井ゆかり 高取翠揚
  - 脇田玉波 松岡流麗
  - 五藤三禮 岩田展穂
  - 金丸紫山 山田紅照

- 奨励賞
- 山田順子 佐藤りさ
  - 岩田佳川 荒川征世
  - 片桐瑠雪 大橋溪煙
  - 飯田泰郷 春日井美来里
  - 村上桂峻 小島華扇
  - 長崎成秀 高松彩月
  - 安藤峯象 近藤由果
  - 森下千代子 小林 進
  - 大竹瑞光
  - 永田張羽 伊神薪水
  - 梅村真琵琶 外村幹秀
  - 長尾秀麗 深谷秋月
  - 内藤春翠 戸谷嘉恵
  - 足立千枝美 井内溪舟
  - 安路静歩 内藤佐紀子
  - 山路静竹 安達加寿子
  - 神田鴻都 井上嘉蓮
  - 山口崑華 林 華静
  - 浅井妍翠 高取春霞
  - 長屋容子 尾関明美
  - 倉橋澄美 平松豊泉
  - 菱川 武 古川白萩
  - 竹内深風
  - 出品点数 一八六六



# 平成24年支部研修旅行

## 飛鳥路の旅

記録部長 後藤 蘇月

▼日時 平成二十四年十月二十八日(日)  
▼行先 飛鳥路

前日からの予報どおりの雨の中、早朝より、バス二台を連れ、相談役の先生方、則支部部長始め六十九名の参加で「飛鳥路の旅」に出発です。

まずは、奈良薬師寺に着き小雨の中、美しい龍宮造りの金堂、薬師三尊堂、雄大な大講堂等を各自興味深く拝観しました。その後は、お楽しみのみひとつ「奈良パークホテル」

紅牙撥鏝に注目です。又、うっとりするような輝きのコバルトブルーの瑠璃坏には、シルクロードの果てを想い起こしました。それぞれの想いを胸にその後は、奈良公園周辺を自由散策です。ほ

ら「飛鳥の地を巡り、千三百年前からの歴史に触れやすらぎの一時を感じた旅でした。そして何よりも大雨にならず無事に研修旅行を終えられたことを感謝しました。

# おりもの感謝祭一宮七夕まつり

一宮書道連盟会長 岩田 潤流

▼会期 平成二十四年七月十四日(土)～十五日(日)  
▼会場 一宮スポーツ文化センター

今年度は第四十回の記念展を迎え、総出品点数は若干減少したものの、多くの先生方の御協力を得て多数御出品いただきました。

さて、昨年度は東日本大震災の直後であり、「温かい心と涼しさを届けよう」と題し、来場の児童生徒さ

# 書道講演会開かれる

## 「森春濤とゆかりの人々」

連盟副会長 中村 曾南

▼日時 平成二十五年一月二十七日(日)  
▼会場 一宮スポーツ文化センター  
▼講師 毛受英彦先生

一八五〇年頃、関西摂津の詩人河野鉄兜をして「天下下るべきは二人、枕山・春濤なり」と言われ、文・字どおり江戸から明治の詩壇をリードした、尾張一宮の詩人森春濤の偉業を講演の夫である森川竹溪が明治四十五年に「森春濤詩鈔」を刊行した。二千三百七十



活動がいかに旺盛であったかが伺い知れます。春濤を語るに、一宮市丹羽にあった、鷺津幽林から四代(二代松隠、三代益齋、四代穀堂)にわたる「万松亭」から「有隣舎」での人々との交流は興味深いものがあります。特に「万松亭」では大沼枕山と共に学んでいます。一八六三年名古屋市桑名町に「桑三軒吟社」を開

# 一宮書道連盟主催(一宮支部後援)

## 第19回 選抜作品展

▼会期 平成二十四年七月十四日(土)～十五日(日)  
▼会場 一宮スポーツ文化センター

おりもの感謝祭一宮七夕まつりに協賛し、第十九回選抜作品展が開催されました。当連盟を代表する役員

- |      |      |
|------|------|
| 阿部舟花 | 石川裕彩 |
| 伊藤美泉 | 犬飼游華 |
| 猪又松峰 | 岩田佳川 |
| 岩田清竹 | 牛田美泉 |
| 岡崎啓雪 | 小倉梨雪 |
| 加島遊舟 | 勝海芝香 |
| 可児長望 | 河島紫虹 |
| 河村抱山 | 國島英華 |
| 栗本珠路 | 小島瑞月 |
| 五藤梅艶 | 酒井光華 |
| 酒井香雪 | 坂井香泉 |
| 酒井淑婉 | 酒井照苑 |
| 澤野麦邨 | 高桑愛降 |
| 高松秀翠 | 高山紅雪 |
| 田中石雲 | 戸谷嘉恵 |
| 中島青波 | 中村華風 |
| 中山芳泉 | 西澤晴香 |
| 中山松花 | 野田佳楊 |
| 萩原楓苑 | 橋本佳静 |
| 服部稲華 | 古川白萩 |
| 堀内無我 | 真野藤麗 |
| 丸一雙泉 | 宮代翠霄 |
| 村上桂峻 | 森雪華  |
| 山口竹汀 | 山田紅照 |
| 吉田美影 | 渡辺湖風 |

- 四十回展出品数
- |      |        |
|------|--------|
| 総出品数 | 四、〇六六  |
| 特別出品 | 四九点    |
| 個人賞  | 一、八四一点 |
| 特選   | 一、六一四点 |
| 金賞   | 五六二点   |
| 展示作品 | 一、四四〇点 |



時、浪費の大きさを改めて痛感致しました。参加者ひとりひとりが、苦難に直面する社会の一員であり、自分たちの小さな働きかけが、大きな成果を生むことを認識するきっかけになれば幸いです。

# 第62回 中日書道展

会場・会期

愛知県美術館ギャラリーI  
名古屋市民ギャラリー栄  
名古屋博物館

六月十三日(水)～十七日(日)  
六月十二日(火)～十七日(日)  
六月十九日(火)～二十四日(日)〔二科〕  
六月二十七日(水)～七月一日(日)〔二科〕

支部からは左記の方々が受賞されました。おめでとうございます。

益々のご活躍をお祈りいたします。

## 準大賞

可児長望



橋本成良



## 桜花賞

大橋溪煙 河合花影  
高山紅雪 西垣美茜  
前野樹風 小駒辰江

## 推薦

五十嵐游燕 岩田希彩  
鶴飼梨英 大野邑翠  
則竹松慶

## 特選

伊藤彩秀 大野珠翠  
梶木光雪 春日井美来里  
倉光枝芳 澄川翠栄  
内藤春翠 中村彩香  
日比野畔雨 松岡流麗

松川春霞 若田彩華  
尾関明美 丹羽鈴子  
久木野美千代

横山瑛子 脇田朝萌  
脇田遊汕 渡辺琴泉  
小島華扇 川口千代子

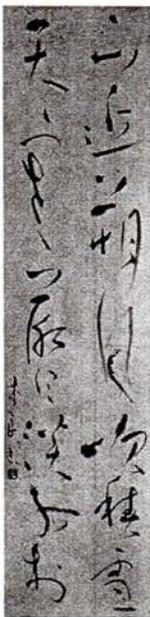
阿部翠祥 伊藤鶴雲  
伊藤桂川 伊藤笙溪  
今井翠柳 岩田和子  
上田黄柳 梅村真琵  
大池香嶺 大澤雅舟  
河合澄香 川人美月  
栗田梢光 後藤豊昇  
後藤葉光 志知隆道  
杉山松雅 竹村静景  
辻村祥泉 永岡美沙  
馬場桜華 原香風

青井翠風 伊藤紫鳳  
伊藤翠眉 内出紅華  
大西影慕 岡崎啓雪  
遠座紅果 川本由城  
小出和香 小澤松煙  
小嶋美秀 谷桂凜  
谷本義仙 辻川祥花

長澤美峰 中笠奈緒子  
中山芳泉 服部芝華  
林萃香 外村幹秀  
外村桃瑤 松居玉華

秀逸 野秋 怡光  
小松 月泉  
太田 紫翠  
野田 緑川  
山田 杏華  
小駒 辰江  
西川原 翠苑

秀作賞 村上史麗



平手夢花 平松豊泉  
牧 昂峻 村上桂峻  
森 環翠 山口雪華  
山田青香 脇田玉波  
渡辺美翠 今枝節峰  
脇 英園 久保由

## 二科賞

神辺尚青 木村瓊鐘  
高取翠揚 毛呂楚郎

## 奨励賞

稲垣美鳳 岩尾美沙子  
岩村暎月 木本竹壽  
後藤柳月 鈴木春瓊  
星川朝香 山口如泉  
山路静竹 山田順子  
内藤千恵子 山田順子  
佳作 小林修堂  
木村秀華 小林修堂  
後藤成子 小林修堂

ご入選・ご入賞  
おめでとうございます

## 第44回 日展

入選 小島 瑞月  
林 大樹

## 第29回 読売書法展

読売奨励賞  
野秋 怡光  
小松 月泉  
太田 紫翠  
野田 緑川  
山田 杏華  
小駒 辰江  
西川原 翠苑

特選 野秋 怡光  
小松 月泉  
太田 紫翠  
野田 緑川  
山田 杏華  
小駒 辰江  
西川原 翠苑

秀逸 野秋 怡光  
小松 月泉  
太田 紫翠  
野田 緑川  
山田 杏華  
小駒 辰江  
西川原 翠苑

秀作賞 村上史麗

第64回 毎日書道展  
村上史麗

## 一宮支部収支決算報告

自平成24年4月1日  
至平成25年3月31日

収入の部		予算額(円)	決算額(円)
1 会費収入	1 会費収入		
	1 評議員会費	304,500	315,000
	2 正会員会費	745,500	780,500
	3 準会員会費	265,000	197,500
2 事業収入	1 事業収入		
	1 支部展収入	690,000	648,000
	2 支部学生展収入	1,525,000	1,424,000
	3 支部選抜展収入	0	0
	4 支部研修会収入	700,000	702,000
	5 支部講演会収入	0	0
	6 支部祝賀会収入	980,000	875,000
3 寄附金収入	1 寄附金収入		
	1 寄附金収入	0	0
4 雑収入	1 雑収入		
	1 受取利息	0	297
	2 雑収入	90,000	97,000
5 投資活動収入	1 特定資産取得収入		
	1 支部記念事業積立金取崩	0	0
	前年度より繰越	50,000	417,866
収入合計		5,350,000	5,457,163

支出の部		予算額(円)	決算額(円)
1 管理費	1 管理費		
2 事業費	1 書道振興事業費		
	1 支部事務所費	935,000	846,665
	1 講演会費	144,000	83,045
	2 講習会費	0	0
	3 研究会費	0	0
	4 研修会費	776,000	713,138
	5 選抜展費	0	0
	6 学生展費	1,830,000	1,679,342
	7 支部展費	335,000	318,045
	8 色紙展費	0	0
	9 支部祝賀会費	980,000	890,000
	10 書道振興事業費	300,000	480,000
3 投資活動支出	1 特定資産取得支出		
	1 支部記念事業積立金	50,000	50,000
	次年度へ繰越		396,928
支出合計		5,350,000	5,457,163

## 支部展・学生展の予告

### 第59回 支部展

一、展覧会 平成二十五年十一月二十三日(土)～二十四日(日)  
一、会場 一宮スポーツ文化センター

### 第42回 支部学生書道展

一、展覧会 平成二十五年十一月二十三日(土)～二十四日(日)  
一、会場 一宮スポーツ文化センター  
一、出品資格 幼児、小学生、中学生、高校生  
一、出品料 四〇〇円  
一、出品締切 十月五日(土)

主催 公益社団法人中部日本書道会一宮支部

## 平成24年度 新入会員紹介

伊藤 薫 伊藤紫鳳  
岩田和子 岩村暎月  
大津翠影 遠座紅果  
加納葦洲 川本由城  
倉光枝芳 後藤葉光  
後藤成子 佐藤紅蘭  
志知隆道 杉浦華甫  
田中慧翠 内藤千恵子  
中笠奈緒子 原香風  
半田千景 平手夢花  
牧 昂峻 村上真里奈  
村瀬紫苑 山田華苑  
横山瑛子 脇田朝萌  
渡邊琴泉  
川出暁香(本部より移籍)

## 計 報

本号発行までに左記の方々が逝去されました。心から哀悼の意を表し、ご報告申し上げます。(逝去順)

評議員 見神恵峰先生 御義父様  
評議員 吉田桃花先生 御母堂様  
評議員 真野翠芳先生 御長男様

## 編集後記

新支部長岩田潤流先生をお迎えして、支部の更なる発展を願ひ、役員一同力を合わせて頑張つてまいりますので、一層のご指導ご協力をお願いいたします。

浅学非才ながら担当する事になりましたが、一生懸命務めさせていただきますので、皆様よろしくお願ひいたします。

編集広報部 小島瑞月